

# ふちゅう歴史散歩

Vol.57

## 南宮神社神像群 表された神々の姿



女神坐像

女神坐像

童女立像

「南宮神社神像群と備後国府展」  
とき 1月16日(土)～24日(日)  
ところ 府中市文化センター  
※イベントの詳細は、18ページ。

備後国府の鎮守社であったと考えられる栗柄町の南宮神社には、平安時代から鎌倉時代(12～13世紀)に製作された男女11体の神像が伝わっています。

神像とは、本来、形のない「神」の姿を彫刻で表現したものです。『古事記』(神話)などに見られるように「神」は人に近い姿でイメージされていたと考えられ、南宮神社の神像も当時の装束を身に付けています。そして、神像をよく見ると、顔のしわやたるみの表現、表情やしぐさ、髪型や装いなどが、それぞれに異なっており、研究によって、性別だけでなく、年齢や社会的地位の違いまで表されていることも分かりました。

あたかも、当時の宮廷を写したような表現がなされており、神々の社会を表しているのではないかと考えられています。

このたび、南宮神社のご協力を得て、これらの神像群を特別に公開展示します。約800年の時を経た神々の姿をご覧ください。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

## ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その22



投稿者 (文と写真)

上下高校 1年生  
しげもり まさひろ  
重森 聖大くん

### 「上下町商工会館 (旧館)」

昨年10月、上下高校の生徒を対象に、商工会館で学習支援塾「天領あやめ塾」がスタートしました。上下高校を支援する



「上下高等学校200年の会」が、生徒の学力向上を支援するために設立したのを知り、僕の勉強へのやる気が膨らみました。この塾に通い始めてからは、苦手な教科は普通についていけるようになり、得意な教科はさらに好きになり、学校での学習が

楽しくなってきました。

商工会館は、旧上下警察署があった所で国の登録有形文化財に指定されており、わずかにアールデコ風の味わいを持った築85年の歴史的な建物です。そんな由緒ある場所で学習していると、地域の方の応援も身近に感じられ、しっかり勉強をすることで、将来地域へ恩返しをしたいという想いが強くなりました。



平成28年 1月1日 (1208)号

## 広報ふちゅう

(毎月1・15日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。